令和３年度　大森山動物園　塩曳潟の水生生物調査

１　目的　「市民と守る塩曳潟のゼニタナゴ」

大森山公園の塩曳潟（天然の沼）には、ゼニタナゴ、シナイモツゴなどの「絶滅のおそれのある生き物」が生息しています。また一方では、アメリカザリガニやウシガエルなどの「外来生物」も入るようになりました。

この塩曳潟に生息する水生生物の実態を調査・観察し、一緒に考えながら、外来生物問題や生物多様性の重要性などについて話し合いたいと思います。

大森山動物園では、市民参加型として市民ボランティアを募集します。

２　開催日時　令和３年９月 26 日（日）午前 10 時～正午（雨天決行）
（9 時 45 分まで大森山動物園ビジターセンター集合）

３　開催場所　大森山動物園内塩曳潟

４　対象者・定員　小学生以上１５名

５　内容　「塩曳潟にはどんな生き物がいるのかな？」

参加者とともに、塩曳潟で定置網を回収したり地びき網をひいたりします。採捕した魚類やエビ類などの水生生物は種類ごとに尾数を数えたり、長さを調べたりして観察・調査を行います。

○調査協力：ＮＰＯ法人秋田水生生物保全協会、新屋高等学校理科研究部

○進　行

　９：４５　動物園ビジターセンター集合（大きい荷物は倉庫に入れる）
１０：００　開会あいさつ（現地にて行う）
１０：１０　内容説明・着替え
１０：３０　地びき網（２回）・定置網（前日夕方設置）開始
１１：２０　採捕できた生物の観察（ミニ水族館）・測定（一部）
１１：４０　講話（秋田水生生物保全協会）
１２：００　閉会・アンケート

８　その他

（ボランティア持参）着替え、長靴、雨具、動きやすい服装、水筒、タオル等